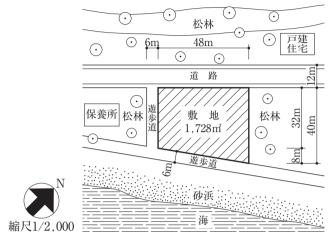
#### 設計課題 大学のセミナーハウス

# 計

この課題は、南側に美しい海岸線が続く疎林地帯に、ある美術大学のセミナー ハウスを計画するものである。本施設は、学生と教員とが生活を共にしながら研 修を行い、相互の交流を深めるとともに、施設の一部を地域住民など一般の利用 にも開放し、創作活動を体験する場を提供するものとする。

### 1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道 の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、建築物 に対して次の制限がある。
  - ① 建ペい率の限度は70%とする。
  - ② 主要な屋根は、道路側(北西側)及び海側(南東側)に下る勾配屋根とする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 地下水、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



#### 2. 建築物

(1) 構造、階数等

構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。

床面積の合計

床面積の合計は、1,600㎡以上、2,000㎡以下とする。 この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外 階段等は、床面積に算入しないものとする。

要求室

	下表の室は、	すべて計画する。	
部門	室 名	特 記 事 項	床面積
	セミナー室(大)	<ul><li>・合同セミナー、研究発表会など多目的に使用する。</li><li>・可動間仕切により、2室に分割できるようにする。</li></ul>	約100㎡
セ	セミナー室(中)	・個別セミナー、講義などに使用する。	約 50㎡
ミナー部	セミナー室(小)	・2室(約25㎡ / 1室) 設ける。 ・小グループによる討論会、サークル活動などに 使用する。	計約 50m
門	図 書 室		約 20㎡
	資 料 室		約 20㎡
	コピー室	・複写機等を備え、自由に使用できるようにする。	適宜
	*宿泊部門は、		
	宿泊室A	・洋室(4人部屋、約30㎡/1室)を6室設ける。 ・収納を設ける。 ・各室にバルコニーを設ける。	計約180m
	宿泊室 B	・和室(6人部屋、約40㎡/1室)を2室設ける。 ・押入、踏込を設ける。 ・各室にバルコニーを設ける。	計約 80m
宿泊	講師宿泊室	・洋室とし、車いす使用者用宿泊室を兼ねる。 ・バス・トイレ・洗面台付きとする。	約 30㎡
部門	談話ラウンジ	<ul><li>・宿泊者の休息・談話等に利用するスペースとする。</li><li>・自動販売機コーナーを設ける。</li><li>・談話ラウンジに面して屋外テラスを設ける。</li></ul>	約 40㎡
	浴 室	・男女別に2室(約40㎡/1室)設ける。 ・脱衣室、洗面・便所を含む。	計約 80m
	洗濯・乾燥室		約 20㎡
Ì	湯 沸 室		
	洗 面 室	・男女別に2室設ける。	適宜
	リネン庫		
	エントランス ホ ー ル	<ul><li>・風除室を設ける。</li><li>・吹抜(30㎡以上)を設ける。</li><li>・入退館時に待機するための待合わせコーナー及び展示コーナーを設ける。</li></ul>	適宜
共用部門	アトリエ	・学生の創作実習に使用するほか、地域住民などの学外者にも開放し、創作講習会を開催する。 ・海岸の景観を眺められる位置に計画する。 ・無柱空間とし、天井高さは5m以上とする。 ・備品倉庫(約20㎡)、講師控室(約10㎡)を設ける。 ・アトリエの屋外に創作広場を設ける。	計約200m
. •	食 堂	・食事時間以外には、学生の談話・休憩に使用するほか、創作講習会に参加した学外者も利用できるようにする。 ・海岸の景観を眺められる位置に計画する。 ・厨房(約30㎡とし、食品庫を含む。)を設ける。 ・テーブル、いす等を設ける。	計約120m
	更衣・シャワー室	・海水浴のためのシャワー設備を設ける。	適宜
<b>.</b>	管理事務室	・受付カウンターを設ける。	約 20㎡
管理	宿 直 室	・洋室とし、浴室、便所を設ける。	約 20㎡
理部	更衣・休憩室		
門	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、 給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。 して必要と思われる室等は、適宜計画するものとす。	適宜

会 員 番 号 氏 名 受 験 地

・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

#### 3. その他の施設等

- (1) 学生の野外制作のほか、学外者を対象とした創作講習会にも使用できる、まと まったスペース(直径7mの円が1つ入るスペースとする。)で、100㎡以上の創 作広場(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を、アトリエの 屋外に設け、アトリエと一体的に利用できるようにする。また、随時、野外バ ーベキュー・パーティーなどを開催するため、食堂との動線にも配慮する。
- (2) 写生等を行うことができる屋外テラス(50㎡以上)を、談話ラウンジに面して、 1階の屋上に設ける。
- 駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1 台分を設ける。なお、これ以外の施設利用者用及び職員用の駐車場については、 敷地外に別途計画されているものとする。
- (4) 駐輪場は、施設利用者用として20台分を設ける。
- (5) (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 海岸の良好な景観を活用した計画とする。
  - セミナー部門、宿泊部門、共用部門及び管理部門を適切にゾーニングし、施 設利用者動線と職員動線とが交差しないような計画とする。
  - ③ バリアフリーに配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性に も配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
  - ③ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火・防災設備等を適切に設け、環 境負荷低減に配慮する。
  - エレベーターを適切に設ける。
  - ③ 自然採光を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射遮蔽にも配慮する。

#### 求 凶

答案用紙 I 及び答案用紙 II の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、 黒鉛筆を用いて記入する。

# 1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

(1) 1 階平面 図								争坦を記入する
<ul> <li>兼配置図 1/200</li> <li>2 階平面図 2/200</li> <li>2 階平面図 2/200</li> <li>2 階平面図 2/200</li> <li>2 階平面図 2/200</li> <li>2 階部を構造機別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)</li> <li>二 設備シャフト(アイブシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 3. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図のに図示する。)</li> <li>4 所面図の切断位置 4. とまナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積 5. で書前室 8. 大道のを図示又は記入する。 4. 各宿泊室のお大代表的な1室の室内プラン及び床面積 1. 及る宿泊室の表示(宿泊室 AはA 1 ~ A 6、宿泊室 Bは B 1 及びB 2)</li> <li>3 セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。)</li> <li>4 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 4. 建築物の出入口 1. の単作広場価値積を記入する。)</li> <li>2 唯平面図には、次のものを図示又は記入する。 4. 屋上テラス(面積を記入する。)</li> <li>2 隆平面図には、次のものを図示又は記入する。 4. 屋上テラス(面積を記入する。)</li> <li>2 医平面図には、次のものを図示又は記入する。 4. 屋上テラス(面積を記入する。)</li> <li>2 医甲面図には、次のものを図示又は記入する。 2. 産品を配入する。 2. 建築物の含体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西-南東)とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 2. 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 2. 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 4. 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 4. 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 2. 本建能、梁及びスラブの断面を図示する。 2. 本建能、梁及びスラブの断面を図示する。 2. 本建能・業を記入する。 4. 上要な軽、大業、小梁及びスラブの断面では、大学、小梁及びスラブの断面では、まで記入する。 4. 本述、発表の等号を明示する。 2. 本述の等号を明示する。 2. 本述の等号を明示する。 2. 本述部が表のので号を明示する。 2. 本述部が表ので号を明示する。 2. 本述部が表ので号を明示する。 2. 本述部が表ので号を明示する。 3. 本述ので見下で図と、主要な軽、大学、小梁及びスラブの断面では、大学、小梁及びスラブの断面を図示する。 4. 基準が表ので号を明示する。 3. 本述のでは、大学、小梁及びスラブの断面を図示する。 4. 本述のでは、大学、小学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、からに、大学、がらに、大学、からに、大</li></ul>				特	記			
1/200   程度)	(1)					び2階平面	図には、	次のものを図
(2) 2 階 平 面 図 1/200  1/200		配置	図 1	'. 建築物のヨ	E要寸法(	注割り及び」	末面積の	計算に必要な
(2) 2 階平面図 1/200  ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)  ニ. 設備シャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図の切断位置 ト. セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機軽室の床面積 ② 宿泊室A 宿泊室B 及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。  イ. 各宿泊室のうち代表的な1室の室内プラン及び床面積 ロ. 各宿泊室の当ち代表的な1室の室内プラン及び床面積に混入口 ハ. 各宿泊室の当ち代表的な1室の室内プラン及び床面積に記入口 ロ. 各宿泊室の当ち代表的な1室の室内プラン及び床面積に記入口 ロ. 4 保に記入し、図示する。)  4 「階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。イ. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。)  ハ. 延事場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。)  ニ通路、植栽等 (3) と下・ラス(面積を記入する。)  ア. 通路、植栽等 (3) と下・ラス(面積を記入する。)  日居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 切断位置、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる方面(北西一南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。		1/200						
1/200   要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)   三、設備シャフト(バイブシャフト(PS)、ダクトスペース (DS)、電気シャフト(EPS))の位置   ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)   小. 断面図の切断位置   ト. セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積   2 宿泊室のよ入する。	(0)				le sub-eest mad	4= I# = 1		del code to a st
(3) 断 面 図 1/200  - 設備シャフト[バイブシャフト(PS)、ダクトスペース (DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話 ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積 ② 宿泊室A、宿泊室B及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。 イ. 各宿泊室の計入口 ハ. 各宿泊室の計入口 ハ. 各宿泊室の表示(宿泊室AはA1~A6、宿泊室BはB1及びB2) ③ セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。) 4 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。イ. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 ⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 リ断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び経路が、1階の屋根がわかる断面(北西ー南東)とする。なお、水平方向、鈴直方向の省略は行わないものとする。② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 3 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 4 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 4 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 2 構造部材表に主要な性、大梁、小梁及びスラブの断面す法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使	(2)		凶   ノ					
(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積 ② 宿泊室A、宿泊室B及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。 イ. 各宿泊室の出入口 ハ. 各宿泊室の出入口 ハ. 各宿泊室の出入口 ハ. 各宿泊室の出入口 カ. 各宿泊室の出入口 カ. 各宿泊室の武では記入する。) ④ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。イ・建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 ⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。イ・屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分  (3) 断 面 図 1/200 (3) 断 産上に設備スペースを設けた場合は図示する。② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。タンにとしているのででは構造部が表のである。とでは構造部が表のである。とでは構造部が表のである。とまでなおが複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使		1/200	_					
#. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)			_					7 F A N - A
た場合は断面図に図示する。) へ、断面図の切断位置 ト・セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話 ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積 ② 宿泊室A、宿泊室B及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。 イ・各宿泊室の出入口 ハ・各宿泊室の表示(宿泊室AはA1~A6、宿泊室BはB1及びB2) ③ セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			才					、屋上に設け
ト. セミナー室(大)、(中)、(小)、図書室、資料室、談話 ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積   ② 宿泊室 A、宿泊室 B 及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。							(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,,
ラウンジ、浴室、アトリエ、食堂、管理事務室及び設備機械室の床面積   ② 宿泊室A 、宿泊室B 及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。								
(3) 断 面 図 1/200  (3) 断 面 図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 宿泊室 A、宿泊室 B及び講師宿泊室については、次のものを図示又は記入する。 (6) 宿泊室の出入口			1					
(3) 断 面 図 1/200  (3) 断面 図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 6 日 梁伏図 1/200  (6) 6 日 梁伏図 1/200  (7) 6 日 梁伏図 1/200  (8) 6 日 梁伏図 1/200  (9) 6 日 梁伏図 1/200  (1) 6 日 梁伏図 1/200  (2) 6 日 梁伏図 1/200  (3) 6 日 梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 6 日 梁伏図 1/200  (6) 6 日 梁伏図 1/200  (7) 6 日 梁伏図 1/200  (8) 6 日 梁伏図 1/200  (9) 6 日 梁伏図 1/200  (1) 6 日 梁伏図 1/200  (2) 6 日 梁伏図 1/200  (3) 6 日 梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 6 日 梁伏図 1/200  (6) 7 日 梁大図 1/200  (7) 6 日 梁伏図 1/200  (8) 6 日 梁伏図 1/200  (9) 6 日 梁伏図 1/200  (1) 7 日 梁大図 1/200  (2) 6 日 梁伏図 1/200  (3) 6 日 梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 6 日 梁伏図 1/200  (6) 7 日 梁伏図 1/200  (7) 6 日 梁伏図 1/200  (8) 6 日 梁伏図 1/200  (9) 6 日 梁伏図 1/200  (10) 7 日 梁大図 1/200  (2) 6 日 梁伏図 1/200  (3) 6 日 梁伏図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 6 日 梁伏図 1/200  (6) 7 日 梁大図 1/200  (7) 7 日 梁大図 1/200  (8) 7 日 梁大図 1/200  (9) 7 日 梁大図 1/200  (10) 8 日 ※大図 1/200  (11) 8 日 ※大図 1/200  (2) 7 日 ※大図 1/200  (3) 8 日 ※大図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 7 日 ※大図 1/200  (6) 8 日 ※大図 1/200  (7) 8 日 ※大図 1/200  (8) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (10) 8 日 ※大図 1/200  (11) 8 日 ※大図 1/200  (12) 8 日 ※大図 1/200  (13) 8 日 ※大図 1/200  (2) 8 日 ※大図 1/200  (3) 8 日 ※大図 1/200  (4) 2 階梁伏図 1/200  (5) 8 日 ※大図 1/200  (6) 8 日 ※大図 1/200  (7) 8 日 ※大図 1/200  (8) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (1) 8 日 ※大図 1/200  (2) 8 日 ※大図 1/200  (3) 8 日 ※大図 1/200  (4) 2 階 ※大図 1/200  (5) 8 日 ※大図 1/200  (6) 8 日 ※大図 1/200  (7) 8 日 ※大図 1/200  (8) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200  (1) 8 日 ※大図 1/200  (2) 8 日 ※大図 1/200  (3) 8 日 ※大図 1/200  (4) 9 日 ※大図 1/200  (5) 8 日 ※大図 1/200  (6) 8 日 ※大図 1/200  (7) 8 日 ※大図 1/200  (8) 8 日 ※大図 1/200  (9) 8 日 ※大図 1/200						トリエ、食	堂、管理	事務室及び設
のを図示又は記入する。			(2)			水沸布安泊	タについ	ナル 次のも
<ul> <li>イ. 各宿泊室のうち代表的な1室の室内プラン及び床面積 ロ. 各宿泊室の出入口 ハ. 各宿泊室の表示(宿泊室 A は A 1 ~ A 6、宿泊室 B は B 1 及び B 2)</li> <li>③ セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。)</li> <li>④ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。イ. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等</li> <li>⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分</li> <li>(3) 断 面 図 1/200</li> <li>(3) 断 面 図 1/200</li> <li>(4) 2階梁伏図 1/200</li> <li>(5) 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。</li> <li>(6) 2階梁伏図 1/200</li> <li>(7) 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。</li> <li>(8) 準度なる場合は空欄に符号。部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使</li> </ul>			(2)				至につい	には、次のも
			1				室内プラ	ン及び床面積
<ul> <li>ハ. 各宿泊室の表示(宿泊室 AはA 1 ~ A 6、宿泊室 Bは B 1 及び B 2)</li> <li>③ セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。)</li> <li>④ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。イ・建築物の出入口口・創作広場(面積を記入する。)</li> <li>ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。)</li> <li>二. 通路、植栽等</li> <li>⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。イ・屋上テラス(面積を記入する。)</li> <li>ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ・1階の屋根、ひさし等となる部分</li> <li>(3) 断面図 1/200</li> <li>⑤ 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。</li> <li>② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。</li> <li>③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。</li> <li>④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。</li> <li>④ 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。</li> <li>② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使</li> </ul>						M 00 1 T 1		- // С // ГП   Д
(3) セミナー室(大)の照明計画に応じた照明器具(凡例の空欄に記入し、図示する。) (4) 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 (5) 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 (3) 断 面 図 1/200 (3) 断 面 図 1/200 (4) 2階梁伏図 1/200 (5) 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 (4) 2階梁伏図 1/200 (6) 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 (6) 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 (7) 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 (8) 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号。部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使				<ol> <li>各宿泊室</li> </ol>	)表示(宿	泊室AはA	$1 \sim A 6$	、宿泊室Bは
欄に記入し、図示する。)  4 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。  7. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 (5) 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 (3) 断 面 図 1/200  「切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 (3) 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 (4) 2階梁 伏図 1/200  「全階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面す法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号。部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使								
(4) 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 (5) 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ハ. 1 階の屋根、ひさし等となる部分 (3) 断 面 図 1/200			(3)				た照明智	器具(凡例の空
イ. 建築物の出入口         ロ. 創作広場(面積を記入する。)         ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。)         ニ. 通路、植栽等         ⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。         イ.屋上テラス(面積を記入する。)         ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路         ハ.1階の屋根、ひさし等となる部分         (3)断面図1/200       切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。②屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。         ②屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。       3 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。         (4) 2階梁伏図1/200       1 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使							のお図ま	マルコスナス
ロ. 創作広場(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等 (5) 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 屋上テラス(面積を記入する。) ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 (3) 断 面 図 1/200						は、人のも	のを図が	又は記入りる。
ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。)         ニ. 通路、植栽等         ⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。         イ.屋上テラス(面積を記入する。)         ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路         ハ.1階の屋根、ひさし等となる部分         (3)断面図1/200       切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 – 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。②屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。         ②屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。       3 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。         (4) 2階梁伏図1/200       1 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使						(する。)		
<ul> <li>(5) 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。         <ol> <li>イ・屋上テラス(面積を記入する。)</li> <li>ロ・居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路</li></ol></li></ul>							「口を明え	示する。)
イ.屋上テラス(面積を記入する。)         ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路         ハ.1階の屋根、ひさし等となる部分         (3) 断 面 図 1/200       ① 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。         (4) 2階梁伏図 1/200       ② 整礎、梁及びスラブの断面を図示する。         (4) 2階梁伏図 1/200       ① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。         ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使								
□. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離 及び経路 ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分  (3) 断 面 図 1/200 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及 び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西−南東)とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。  (4) 2階梁伏図 1/200 ② 構造部材表の見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使							又は記入	.する。
及び経路			I .				ETL O	マットな 旧立場
ハ. 1階の屋根、ひさし等となる部分         (3) 断 面 図 1/200       ① 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。         (4) 2階梁伏図 1/200       ② 管梁伏図 1/200         (4) 2階梁伏図 1/200       ② 情造部材表の見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使					逐い小原	かり避難階	段の一に	.至る歩行距離
(3) 断 面 図 1/200 切断位置は、アトリエを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 − 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。3 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高及び主要な室名を記入する。4 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 (4) 2 階 梁 伏 図 1/200 2 階			,		1 7/31	<b>生とたる部</b>	分	
1/200       び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(北西 - 南東)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。         ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。       ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。         4 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。       ② 階梁 伏図 1/200         (4) 2階梁 伏図 1/200       ① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。         (4) 2階梁 伏図 1/200       一次では構造部材表の符号を明示する。         (5) 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使	(3)	新 面 「						の立体構成及
なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 ④ 2階 梁 伏 図 1/200 ② 1/200 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号。部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使	(0)							
③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。         (4) 2階梁伏図 1/200       2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面する。         (4) 2階梁伏図 1/200       2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面す法部材表の符号を明示する。         (2) 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使								
主要な室名を記入する。								
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200       ① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。         ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号。部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使			3				天井高、	1 階床高及び
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200							上っ	
1/200 ラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使	(4)	O 1714 377, 415 1	-					1 河 アフドラ
② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸 法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号 部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使	(4)		XI (I)					、小架及びス
法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号 部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使		1/200	(2)					ラブの断面士
部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使			2					
面 晴 夷(答案田紙工に記入)								

# 2. 面 積 表(答案用紙 I に記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、 その算定式も記入する。

## 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面 では表せない部分についても記述する。
  - ① 海岸の良好な景観の活用について、工夫したこと
  - ② アトリエの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- ③ 宿泊室A及びBの計画について、その位置とした理由及び動線計画(避難計 画を含む。)において工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図 面では表せない部分についても記述する。
  - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 無柱空間の構造計画について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面 では表せない部分についても記述する。
  - ① アトリエ、セミナー室(大)、宿泊室A及び宿泊室Bに採用した空調方式と採 用した理由
  - ② アトリエの自然採光及び日射遮蔽について、工夫したこと ③ セミナー室(大)の照明計画について、工夫したこと